

令和3年度 沖縄群島 病害虫発生予報 第7号(10月予報)

○向こう1か月の天候の見通し (令和3年9月23日発表：沖縄気象台)

平均気温	降水量	日照時間
高い	ほぼ平年並	ほぼ平年並

○10月の発生予報 (沖縄群島)

作物	病害虫名	調査結果	予報		予報の根拠
		9月の発生量 (平年比)	9月からの増減	10月の発生量 (平年比)	
カンシヨ	① イモキバガ	並	↓	並	平年の発生量の推移 (↓)
さととうきび	① メイチュウ類 (カンシャシンクイハマキ、 イネヨトウ)	(発生なし) 並	→	並	芯枯茎率の平年の発生量の推移 (→)
(温かんみかん)	① ハダニ類	並	↓	並	平年の発生量の推移 (↓) 今後1か月の降水量が平年並の見込み
(へたかんかきんつ)	① かいよう病	並	↑	並	平年の発生量の推移 (↑) 今後1か月の降水量が平年並の見込み
	② 黒点病	やや多	↓	やや多	平年の発生量の推移 (↓) 今後1か月の降水量が平年並の見込み
	③ ハダニ類	並	→	並	平年の発生量の推移 (→) 今後1か月の降水量が平年並の見込み
マンガ	① チャノキイロアザミウマ	並	↑	並	平年の発生量の推移 (↑)
	② マンゴーハフクレタマバエ	並	↑	並	平年の発生量の推移 (↑)
	③ ハダニ類	並	↑	並	平年の発生量の推移 (↑) 今後1か月の降水量が平年並の見込み
(小ギク)	① 黒斑・褐斑病	やや多	↓	やや多	平年の発生量の推移 (↓)
	② アザミウマ類	多	↑	やや多	平年の発生量の推移 (↑)
	③ アブラムシ類	多	↑	やや多	平年の発生量の推移 (↑)

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

- 平年値：過去5～10年間の発生量の平均値
- 例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※(発生なし)は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量(現況)と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予報の詳細内容やその他情報を掲載しています。

○その他注意すべき病害虫（沖縄群島）

作物	病害虫名	発生状況及び防除事項
（ タ か ん カ き ん つ ）	サビダニ類	一圃場の果実で多く発生していた。本類は果実と葉に寄生して、被害を及ぼす。梅雨明け以降に発生が多くなることから、薬剤防除を徹底する。
マ ン ゴ ー	炭そ病・軸腐病・すす点病	せん定枝や残さは感染源となるのでほ場外へ持ち出し処分する。
	ナカジロフサヤガ	一部のほ場の新葉で本種の多発生が見られた。施設内をよく見回り、早期発見・防除に努める。
	ドクガ類	病害虫防除員報告（本島北部）によると、本種が多発生であった。施設内をよく見回り、早期発見・防除に努める。

令和3年度 宮古群島 病害虫発生予報 第7号(10月予報)

○向こう1か月の天候の見通し（令和3年9月23日発表：沖縄気象台）

平均気温	降水量	日照時間
高い	ほぼ平年並	ほぼ平年並

○10月の発生予報（宮古群島）

作物	病害虫名	調査結果	予報		予報の根拠
		9月の発生量 (平年比)	9月からの増減	10月の発生量 (平年比)	
さとうきび	① アオドウガネ	多	↗	多	平年の発生量の推移（↗）
	② メイチユウ類 (カンシャシクイハマキ、イネヨトウ)	並	↗	並	芯枯茎率の平年の発生量の推移（↗）
マンゴー	① チャノキイロアザミウマ	やや少	↗	やや少	平年の発生量の推移（↗）
	② ハダニ類	並	↘	並	平年の発生量の推移（↘）

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

- 平年値：過去5～10年間の発生量の平均値
- 例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※（発生なし）は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量（現況）と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予報の詳細内容やその他情報を掲載しています。

○その他注意すべき病害虫（宮古群島）

作物	病害虫名	発生状況及び防除事項
マンゴー	炭そ病・軸腐病・すす点病	せん定枝や残さは感染源となるのでほ場外へ持ち出し処分する。

令和3年度 八重山群島 病害虫発生予報 第7号(10月予報)

○向こう1か月の天候の見通し（令和3年9月23日発表：沖縄気象台）

平均気温	降水量	日照時間
高い	ほぼ平年並	ほぼ平年並

○10月の発生予報（八重山群島）

作物	病害虫名	調査結果	予報		予報の根拠
		9月の発生量 (平年比)	9月からの増減	10月の発生量 (平年比)	
水 稲	① 葉いもち病	やや多	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
	② セジロウンカ	多	↘	多	平年の発生量の推移（↘）
	③ スクミリングカイ	やや多	↘	やや多	平年の発生量の推移（↘）
さ と う き び	メイチュウ類 ① (カンシャシンクイハマキ・ イネヨトウ)	並	↗	並	芯枯茎率の平年の発生量の推移（↗）
マ ン ゴ ー	① チャノキイロアザミウマ	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
	② マンゴーハフクレタマバエ	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
	③ ハダニ類	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
オ ク ラ	① うどんこ病	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
	② フタデンミドリヒメヨコバイ	並	→	並	平年の発生量の推移（↗）

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

- 平年値：過去5～10年間の発生量の平均値
- 例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※増減傾向は、発生量（現況）と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予察の詳細内容やその他情報を掲載しています。

○その他注意すべき病害虫（八重山群島）

作物	病害虫名	発生状況及び防除事項
マ ン ゴ ー	炭そ病・軸腐病・すす点病	せん定枝や残さは感染源となるのでほ場外へ持ち出し処分する。

向こう1か月の天候の見通し
沖縄地方（9月25日～10月24日）

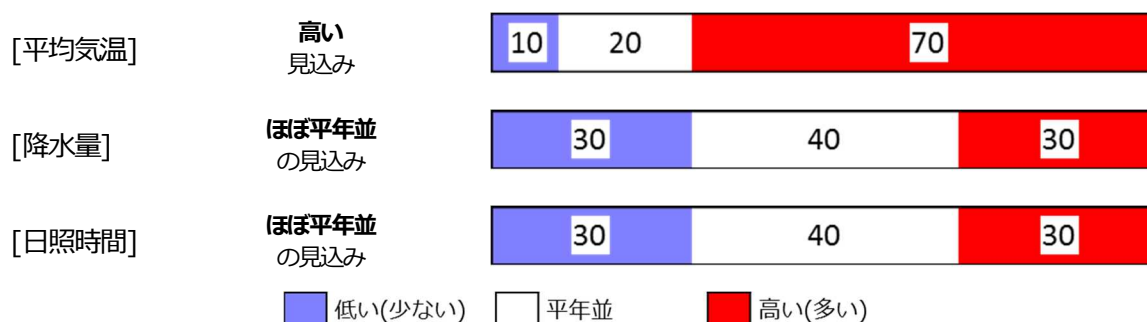
○ 気象予報のポイント

- 向こう1か月の天候は、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
- 向こう1か月の平均気温は、暖かい空気に覆われやすいため高いでしょう。期間の前半は気温がかなり高くなる可能性があります。
- 向こう1か月の降水量と日照時間は、ほぼ平年並でしょう。



気象庁マスコットキャラクター
はれるん

○ 向こう1か月の平均気温・降水量・日照時間

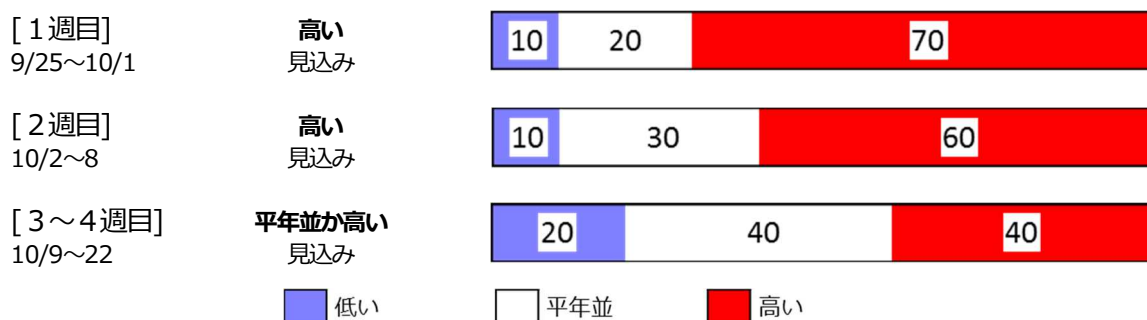


数値は予想される出現確率（%）です。

<平年並の範囲>

	平均気温（1か月）	降水量（1か月）	日照時間（1か月）
沖縄地方	平年差：-0.3～+0.3℃	平年比：70～109%	平年比：98～106%
那覇	25.8～26.6℃	96.3～219.9mm	141.6～166.9時間

○ 週別の平均気温



数値は予想される出現確率（%）です。

<平年並の範囲>

	平均気温（1週間）	平均気温（2週間）	平均気温（3～4週間）
沖縄地方	平年差：-0.3～+0.4℃	平年差：-0.3～+0.4℃	平年差：-0.4～+0.3℃
那覇	26.7～27.6℃	26.2～27.0℃	25.1～26.0℃

- ※ 沖縄地方の平年差（比）は、那覇・名護・久米島・宮古島・石垣島・西表島・与那国島の7地点平均値です。
- ※ 平年並の範囲は、過去30年間（1991～2020年）の値から統計的に求めています。